学びのコンパス

自分たちの表現を工夫しよう

楽譜に書かれている音符や記号は、作曲者のメッセージであり、曲想*を感じ取って表現するための手がかりの一つとなります。「浜辺の歌」（p.22、24）の音楽の特徴を捉えて、表現を工夫しましょう。

＊**曲想**…その曲がもっている雰囲気や表情、味わいなど。

1 演奏を聴いたり歌詞を音読したりして、曲の印象や想像した情景などについて、自由に話し合いましょう。

曲の印象や想像した情景など、話し合ったことを書きましょう。

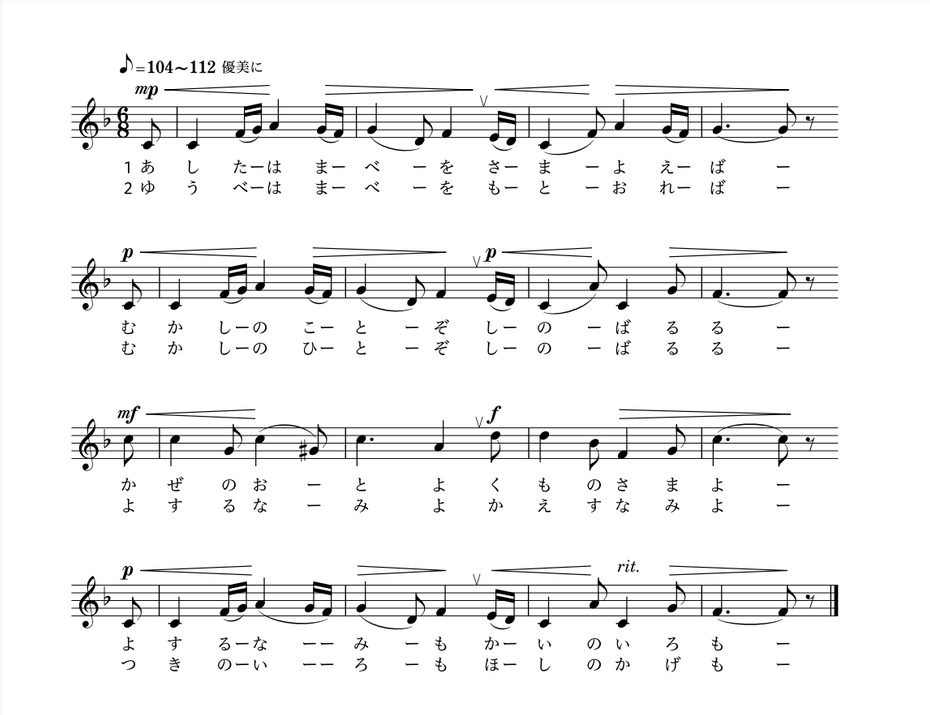
2 歌ったり伴奏を聴いたりしながら、音楽の特徴として聴き取ったことや感じ取ったこと、歌詞の内容などを表に書き、関わりがあると思うものどうしを線で結びましょう。

音楽の特徴		歌詞の内容
聴き取ったこと（拍子、旋律、強弱、形式など）		
感じ取ったこと		

3 ❷で表に書いた内容について、ペアやグループで話し合い、自分の考えを広げたり深めたりしましょう。

話し合ったことや、それをもとに自分が考えたことなどを書きましょう。

4 ❶～❸をもとに、まず１段目と２段目をどのように歌いたいかを考え、その内容を下の楽譜に書き入れましょう。その際は、ペアやグループで歌い試しながら取り組みましょう。



5 次に、３段目と４段目をどのように歌いたいかを考え、その内容を上の楽譜に書き入れましょう。その際は、ペアやグループで歌い試しながら取り組みましょう。

深めよう！

6 ペアやグループで工夫したことを歌って発表し、よいと思ったところやアドバイスなどを互いに伝え合いましょう。

発表を聴いて、よいと思ったところなどを書きましょう。

深めよう！

7 これまでの学習を踏まえ、あなたは、特にこの曲の3段目をどのように歌いたいですか。
また、そのためにどのような工夫をしますか。下に書きましょう。